

シラバス基本情報

1. 開講年度	2027年度		2. 開講学期	後期(後期前半)	
3. 開講学部・学科等／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養基礎科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 英語文学・英語学探訪 (英文名) Topics of English Literature and English Linguistics				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 木口圭子, 田尾俊輔 (ローマ字) KIGUCHI Keiko, TAO Shunsuke				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必修区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため曜日・時限は関係なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学学生向け	無し		連携大学学生向け	無し
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	イギリス詩, 詩形, 押韻, 意味論, 形態論 English Poetry, Poetic Forms, Rhyme, Semantics, Morphology				
21. 授業概要	(英語文学) 英語詩の形式ごとに取り扱う作品を選び、授業を進める(第4回を除く)。小説とは異なる文学形式で書かれた作品を鑑賞する意義を学ぶ。 (英語学) 自然言語の共通性や変化についてのトピックを通して、英語学研究の一端を紹介する。英語と日本語の比較も行う。				



22. 授業の目的及び主旨／授業の科目の主題	(英語文学) 英語詩の形式について初歩的な知識を身につける。同時に、詩のテクニックに触れることで、英語という言葉の楽しさを味わってもらいたい。 (英語学) 自然言語の共通性や変化に関する初歩的な知識を学ぶ。		☒
23. 授業の到達目標／学修課題	・詩脚や脚韻など、韻律についての基本的知識を学ぶ。 ・代表的な文学作品を鑑賞し、将来英語教育に携わるための教養の素地を育む。 ・自然言語の共通性や変化についての基礎的知識を身につける。		☒
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1回目:バラッド 2回目:ソネット 3回目:ヴィラネル 4回目:20世紀の詩 5回目:ことばの意味 6回目:ことばの意味の変化 7回目:ことばの形態 8回目:ことばの形態の変化		☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	(英語文学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出すること。質問があれば、メール等で積極的にコンタクトを取ってほしい。 (英語学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出してください。		☒
28. 成績評価の方法と基準	課題提出と、その結果によって評価する。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験なし	☒
	連携大学学生向け	再試験なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名		☒

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・課題提出の〆切は厳守してください。 ・この講座を通し、皆さんの英語への興味がさらに深まれば幸いです。				☒																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	無し <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書2	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		☐																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	まず、メールで連絡をとってください。			☒																																																			
	連携大学学生 向け	まず、メールで連絡をとってください。			☒																																																			

39. 連絡先／ 学生相談場所 ／学生開示用メ ール	自大学 学生向け	kkiguchi@naruto-u.ac.jp (木口), stao@naruto-u.ac.jp (田尾)	☐
	連携大学学生 向け	kkiguchi@naruto-u.ac.jp (木口), stao@naruto-u.ac.jp (田尾)	☐
40. 教 員の実 務経験 について	無し		☐
41. パリ アフリー 対応	教材は文字ベースのスライドで一部音声キャプションあり。		☐
42. そ の他／ 備考	無し		☐

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	四国地区5国立大学連携による共同実施科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名)高齢者福祉と地域				
	(英文名)Elderly welfare and community				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)なし				
	(英文名)なし				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語)畠山輝雄				
	(ローマ字)HATAKEYAMA Teruo				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必修区分／単位区分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-learningのため曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	(1)高齢者福祉, (2)高齢化, (3)高齢人口分布, (4)介護保険制度, (5)地域包括ケアシステム (1)Elderly welfare, (2)Population ageing (3)Distribution of Elderly, (4)Long-term care insurance system, (5)Community-based integrated care system				
21. 授業概要	超高齢化社会を迎えた日本における高齢者福祉について、高齢化の状況(高齢人口分布)やその地域差、制度的解説(介護保険制度、地域包括ケアシステムなど)を踏まえ、受け皿となる地域での対応を考える。高齢者福祉に関する授業ではあるが、学問的背景は地理学であるため、地図をはじめとした図表類の分析・考察により、高齢者福祉に関わる課題を検討し、将来展望を学生にはしてもらいたい。				☒
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	日本における高齢化の進展とその背景、高齢化の地域差、それらを踏まえた高齢者福祉制度の変遷について説明する。これらに伴う地域での対応についても考察することで、今後の日本の超高齢化社会における高齢者福祉と地域との関係を考える。				☒
23. 授業の到達目標／学修課題	・日本の高齢化の背景と高齢化の地域差について理解する。 ・高齢者福祉に関わる制度的な概要を理解する。 ・高齢者福祉制度の変化に伴う地域への影響について理解する。				☒
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 高齢者福祉とは？～なぜ高齢者のための福祉が必要か～ 第2回 日本における高齢化の進展とその要因 第3回 日本における高齢化の地域差とその要因 第4回 高齢者福祉制度の成立と発展～介護保険制度以前～ 第5回 介護保険制度創設とその影響 第6回 介護保険サービスの特徴と立地の地域差 第7回 地域包括ケアシステムの構築と制度的概要 第8回 超高齢化社会と今後の高齢者福祉の展望			☒																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	とくになし			☒																	
28. 成績評価の方法と基準	第1回～第7回の授業の感想(8点×7回＝56点)と第8回を踏まえた最終課題(44点)により評価する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。ただし、やむを得ない状況(忌引や感染症などによる体調不良等)で期日までに提出できない場合には、事前にメールにて担当教員まで連絡のこと。			☒																	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。		☒																	
	連携大学学生向け	再試験は行わない。																			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり 香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名			☒																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・授業ごとに課される課題は、指定された期間(開講時に通知する)内に提出すること。 ・動画の視聴による授業であるため、理解できなければ何回でも視聴すること。			☒																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
教科書1	書名																				
	ISBN		著者名																		
	出版社		出版年																		
	金額		備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	高齢者福祉(第3版)			☑	
		I S B N	978-4-623-08248-3	著者名	大塩まゆみ・奥西栄介編著		
		出版社	ミネルヴァ書房	出版年	2020年		
		金額	2,860円(税込)	備考			
	参考書2	書名	高齢者福祉論 介護保険制度の理念・意義・課題				
		I S B N	978-4-492-70155-3	著者名	香取照幸		
		出版社	東洋経済新報社	出版年	2022年		
		金額	4,950円(税込)	備考			
	参考書3	書名					
		I S B N		著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
34. Web テキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/					☐	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目		なし	☑		
37. 教員相互参観授業公開日程						☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(thatakeyama@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☑	
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(thatakeyama@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	E-mail: thatakeyama@naruto-u.ac.jp				☑	
	連携大学 学生向け	E-mail: thatakeyama@naruto-u.ac.jp				☑	
40. 教員の実務経験について	該当せず					☑	
41. バリアフリー対応	動画の音声を文字起こしたテキスト資料(PDF)あり					☑	
42. その他／備考	なし					☑	

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期後半		
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング		
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング			
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 社会認識と学校教育					
	(英文名) Social cognition and school education					
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し					
	(英文名)無し					
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 伊藤直之					
	(ローマ字) ITO Naoyuki					
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜			
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	無し		
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生		
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室			
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し	
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	(1)経験主義 (2)感情移入 (3)社会科学 (1)Empiricism, (2)Empathy, (3)Social Sciences					
21. 授業概要	子どもであろうと大人であろうと、社会を認識しようとするとき、ある種の「社会の分かれ方」に沿って、社会をとらえようとしている。翻って、学校教育においても、教師は子どもたちに対して「社会の分かれ方」に沿って社会を教えている。この授業では、教員志望でない学生にも、自分自身が受けてきた社会認識教育を振り返って、批判的に考察する機会を提供する。そして、今後も行われていく学校教育における社会認識形成について、自分自身が受けてきた教育の原体験や報道による評価だけではなく、「教育学」の視点、すなわち人格形成の視点からとらえることの重要性を知ってほしい。					☒
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	「社会の分かれ方」として、社会的事象への「経験」を重視する立場、社会的事象に関わる人物への「感情移入」を重視する立場、社会的事象を研究する「社会科学」の成果を重視する立場を紹介し、日本の戦前戦後教育史における典型的事例を通して、その意義と課題について考える。					☒
23. 授業の到達目標 ／学修課題	・「社会の分かれ方」についてメタ認識できる。 ・学校教育における社会認識のいくつかの類型と実際を理解できる。					☒
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)						

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)				
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 経験主義による社会認識とカリキュラム・授業 第2回 感情移入による社会認識とカリキュラム・授業 第3回 系統主義による社会認識とカリキュラム・授業 第4回 社会認識におけるプロセスと教材資料としての再文脈化 第5回 体験的な教材の効果と限界: 見学・観察で何が分かるのか 第6回 描写的な教材の効果と限界: イラストや写真で何が分かるのか 第7回 説明的な教材の効果と限界: 統計や図表で何が分かるのか 第8回 自分自身が受けてきた社会認識教育を振り返る			
27. 授業時間外学習にかかわる情報	特に無し			
28. 成績評価の方法と基準	第1回～第7回の授業の感想(8点×7回＝56点)と第8回を踏まえた最終課題(44点)により評価する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。ただし、やむを得ない状況(忌引や感染症などによる体調不良等)で期日までに提出できない場合には、事前にメールにて担当教員まで連絡のこと。			
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		
	連携大学学生向け	無し		
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり 香川大学5名・徳島大学5名・鳴門教育大学5名・高知大学5名・愛媛大学5名			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・授業ごとに課される課題は、受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。 ・動画の視聴による授業であるため、理解できなければ何回でも視聴すること。			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	指定しない	
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	社会科授業構成の理論と方法	
		ISBN	著者名	森分孝治
		出版社	出版年	1978年
		金額	備考	各大学図書館に所蔵あり
	参考書2	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	

		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/					☒
35. パソコン必要度	必要		36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		☒
37. 教員相互参観授業公開日程						☐
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(naoyuki@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☒
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(naoyuki@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☒
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	E-mail:naoyuki@naruto-u.ac.jp				☒
	連携大学 学生向け	E-mail:naoyuki@naruto-u.ac.jp				☒
40. 教員の実務経験	中学校・高等学校の非常勤講師, 高等専門学校の常勤教員					☒
41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こしたテキスト資料あり。					☒
42. その他／備考	無し					☐

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度	2. 開講学期	後期(後期前半)
3. 開講学部・学科等／区分等	学校教育学部	4. 授業形態／授業種別	eラーニング
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	四国地区5国立大学連携による共同実施科目	6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 現代社会における統計的リテラシー (英文名) Statistical Literacy in present-society		
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 統計教育と統計学の観点から (英文名) From the perspective on statistical education and statistics		
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 早田透, 田中晴喜 (ローマ字) HAYATA Toru, TANAKA Haruyoshi		
10. 時間割コード／申請コード／授業コード		11. 昼夜	
12. 単位数	1単位	13. 選必区分／単位区分	無し
14. 対象学生	学部1・2・3年次生・全学部	15. 対象年次／区分等／標準履修年次	学部1・2・3年次生
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため曜日・時限は関係なし	17. 講義室	
18. 履修推奨科目	自大学学生向け 無し 連携大学学生向け 無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学学生向け 無し 連携大学学生向け 無し
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	統計教育, 母集団と標本, 検定, 統計的リテラシー Statistical Education, Population and Sample, Hypothesis Testing, Statistical Literacy		
21. 授業概要	現代社会における統計的リテラシーを, 数学教育学の観点と, 統計学の観点からそれぞれ学習することを講義全体の目的とする。 講義の前半は統計学の観点からの講義が実施される。高等学校数学IIBまでで学習する範囲を元に, より発展させることで, 記述統計と推測統計, 母集団と標本の関係, 推定と検定の基本的な手順について学習する。 講義の後半においては, そうした内容の学習が何故必要とされるか, どのように教育的対象となるかについて数学教育学の立場からの講義が実施される。特に, Study and Research Pathsを用い, 統計的な教授学習について総合的に学		



	習する。	
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	統計学の基礎について学習し、記述統計と推測統計、母集団と標本の関係、推定と検定の基本的な手順について理解を深める。それらに基づき、統計的リテラシーについての理解を深め、教授学習をStudy and Research Pathsに基づいて設計・実践できるようになることを目的としている。	☐
23. 授業の到達目標／学修課題	・記述統計と推測統計の違いを理解する。 ・母集団と標本の関係を説明できる。 ・推定と検定の基本的な手順を理解する。 ・統計的リテラシーについて理解する。 ・Study and Research Pathsに基づいた教授学習を設計することが出来る。	☐
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1回目 度数分布表、代表値 2回目 母集団と標本 3回目 推定 4回目 検定 5回目 統計教育の歴史的背景 6回目 統計的リテラシー 7回目 Study and Research Paths 8回目 Study and Research Pathsの演習	☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各講義の復習と、必要に応じて予習を指示するので、それらを合わせて各回90分ずつ。	☐
28. 成績評価の方法と基準	第1回～第4回について、Moodle上で毎回課される問題を解き期日までに提出する(50点)。 第5回～第8回について、レポートを課す(状況に応じて小レポートも課す)ので、記述までに提出する(50点)。	☒
29. 再	自大学学生向け	なし

試験の有無	連携大学学生向け	なし			☐																																																			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名				☐																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・期限を過ぎた課題の提出は受け付けない。				☒																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">統計学の基礎のキ: 分散と相関係数編: わかってナットク</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4489021343</td> <td>著者名</td> <td>石村貞夫; 石村光資郎</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京図書</td> <td>出版年</td> <td>2012</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>1,980円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">統計学の基礎のソ: 正規分布とt分布編: わかってナットク</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4489021350</td> <td>著者名</td> <td>石村貞夫; 石村光資郎</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京図書</td> <td>出版年</td> <td>2012</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>1,980円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">数学教育学の軌跡と展望: 研究のためのハンドブック</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>9784779518270</td> <td>著者名</td> <td>全国数学教育学会 編</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ナカニシヤ</td> <td>出版年</td> <td>2024</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>4.950</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名	統計学の基礎のキ: 分散と相関係数編: わかってナットク			ISBN	978-4489021343	著者名	石村貞夫; 石村光資郎	出版社	東京図書	出版年	2012	金額	1,980円	備考		参考書2	書名	統計学の基礎のソ: 正規分布とt分布編: わかってナットク			ISBN	978-4489021350	著者名	石村貞夫; 石村光資郎	出版社	東京図書	出版年	2012	金額	1,980円	備考		参考書3	書名	数学教育学の軌跡と展望: 研究のためのハンドブック			ISBN	9784779518270	著者名	全国数学教育学会 編	出版社	ナカニシヤ	出版年	2024	金額	4.950	備考		☐
参考書1	書名	統計学の基礎のキ: 分散と相関係数編: わかってナットク																																																						
	ISBN	978-4489021343	著者名	石村貞夫; 石村光資郎																																																				
	出版社	東京図書	出版年	2012																																																				
	金額	1,980円	備考																																																					
参考書2	書名	統計学の基礎のソ: 正規分布とt分布編: わかってナットク																																																						
	ISBN	978-4489021350	著者名	石村貞夫; 石村光資郎																																																				
	出版社	東京図書	出版年	2012																																																				
	金額	1,980円	備考																																																					
参考書3	書名	数学教育学の軌跡と展望: 研究のためのハンドブック																																																						
	ISBN	9784779518270	著者名	全国数学教育学会 編																																																				
	出版社	ナカニシヤ	出版年	2024																																																				
	金額	4.950	備考																																																					
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		☐																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			

38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(thayata@naruto-u.ac.jp, htanaka@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。	☐
	連携大学学生 向け	特に設けない。電子メール(thayata@naruto-u.ac.jp, htanaka@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。	☐
39. 連絡先／ 学生相談場所 ／学生開示用メ ール	自大学 学生向け	thayata@naruto-u.ac.jp, htanaka@naruto-u.ac.jp	☐
	連携大学学生 向け	thayata@naruto-u.ac.jp, htanaka@naruto-u.ac.jp	☐
40. 教員の実 務経験	無し		☐
41. パリアフリー 対応	動画のスライドについて、一部文字起こしされた資料(PDFファイル)あり。		☐
42. その他／ 備考	無し		☐